

わかるかな？

市では、6月に男女共同参画パネル展を開催しました。

その中で、「あなたの家の家事分担は？」というアンケートを実施しました。分担の理想と現実を「主に妻」「分担している」「主に夫」の選択肢の中から回答いただきました。

結果を見てみると、それぞれ一番多い回答は、理想では「分担する」、現実では「主に妻」でした。固定的な役割分担意識にとらわれず、負担を分け合いたいと思っている方は多いようです。

ただ、「単に分担しているから良い」というものではない」という意見もありました。家事すべてを分け合わなくても、お互いを尊重し、感謝の気持ちや伝えることで心地よい関係を築くことができます。

今一度、お互いが納得できる家事分担について話し合う機会をもってみてはいかがでしょうか。

まずは相談

訪問買い取りを行う業者との契約は慎重に！

「不用品を買い取る」と突然業者の訪問があり、壊れた装飾品を求められたので、指輪等を含めて25,000円で買い取ってもらった。その後、形見の指輪が入っていたのと買取価格が安すぎると思ひ、買い戻したいと電話したが、「商品は別の業者に渡してしまっただ」と言われたという事例があります。

訪問購入では、業者が突然訪問して勧誘することはないようになっています。前もって電話等で連絡した場合でも、消費者が事前に買い取りを承諾した物品以外では売却を求めるとはできません。もし、契約してしまった場合には、クーリング・オフができます。困ったときは、悩まず消費生活センターにご相談ください。

下野市消費生活センター
専用ダイヤル ☎(44)4883
市役所2階

相談日時 月～金曜日

(祝日・年末年始を除く)
午前9時～午後5時

(正午～午後1時を除く)
※来所での相談の場合は、事前に電話でご予約ください。

※土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ

☎0288(625)2227



下野ブランド

かんぴょう

真夏の青空のもと、一面に広がるかんぴょう畑。すだれのように白いかんぴょうが干される風景は、今も昔も変わらぬ光景です。

栃木県のかんぴょう生産量は、全国の97%を占め、そのうち市では47%を生産しており、かんぴょう生産量日本一を誇ります。

下野のかんぴょう栽培の歴史は長く、今から約300年前、壬生藩主の鳥居忠英(ただてる)というお殿様が、滋賀からお国がえがあつたときにかんぴょうの種を取り寄せ、下野の国に広めました。また、この辺りの水持ちのいい関東ローム層(黒色の火山灰土)による土壌と、頻繁に発生する雷雨が恵みの雨となり、気候風土が適していることからかんぴょうの生産を定着させました。

今度食卓でかんぴょうを食べる際は、おいしい味とともに、300年の歴史と伝統も噛みしめてみてはいかがでしょうか。

わかるかな？

まちがいさがし

2枚の写真には違っているところが3つあります。みつけてみてください。(印刷の汚れは除く。) ※答えは47ページ

▼ コミュニティ FM 放送スタジオ

